



戊辰五月 彰義隊抗王帥之図 亀井至一画 明治8年



エンフィールド銃



四斤山砲



ハンドモルチール



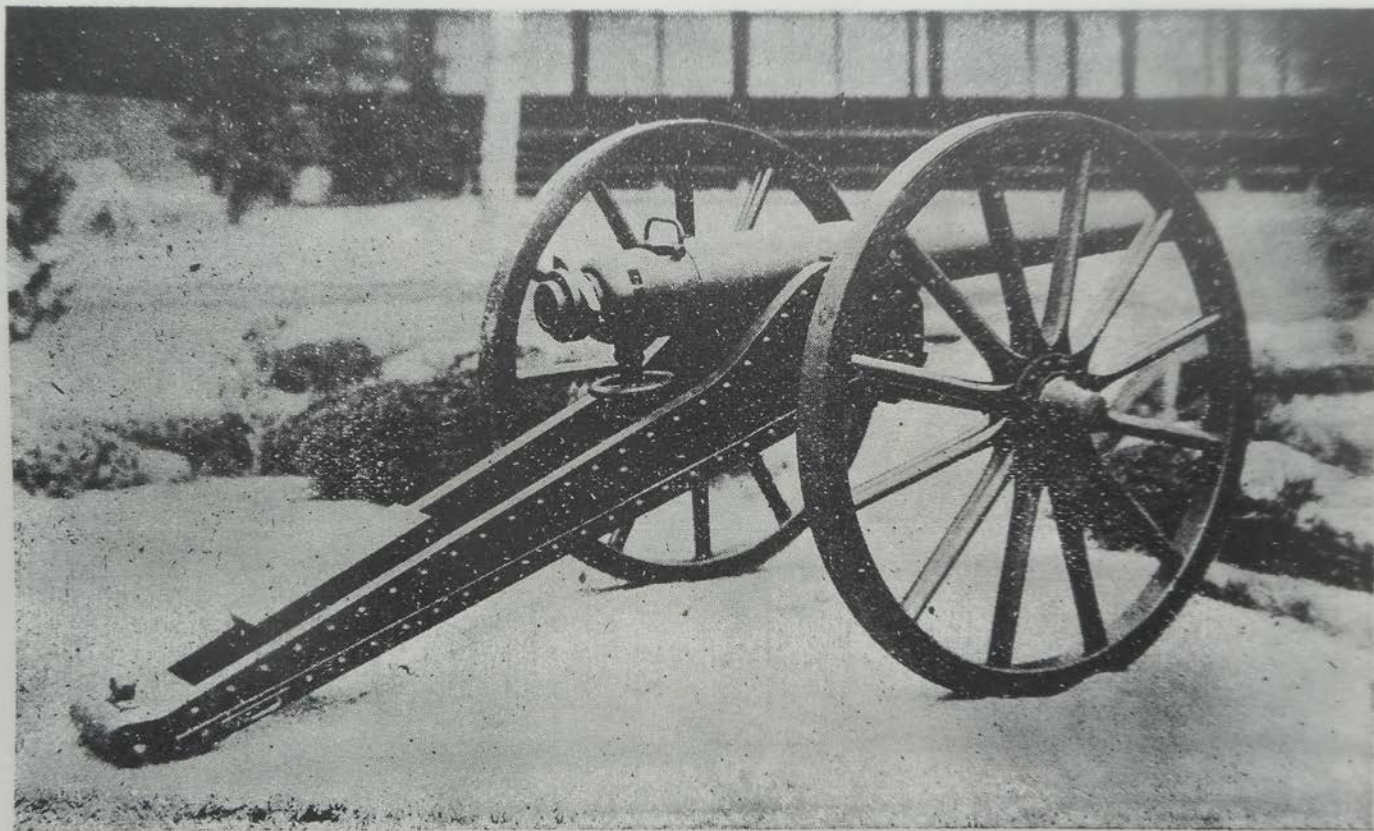
東征軍士卒



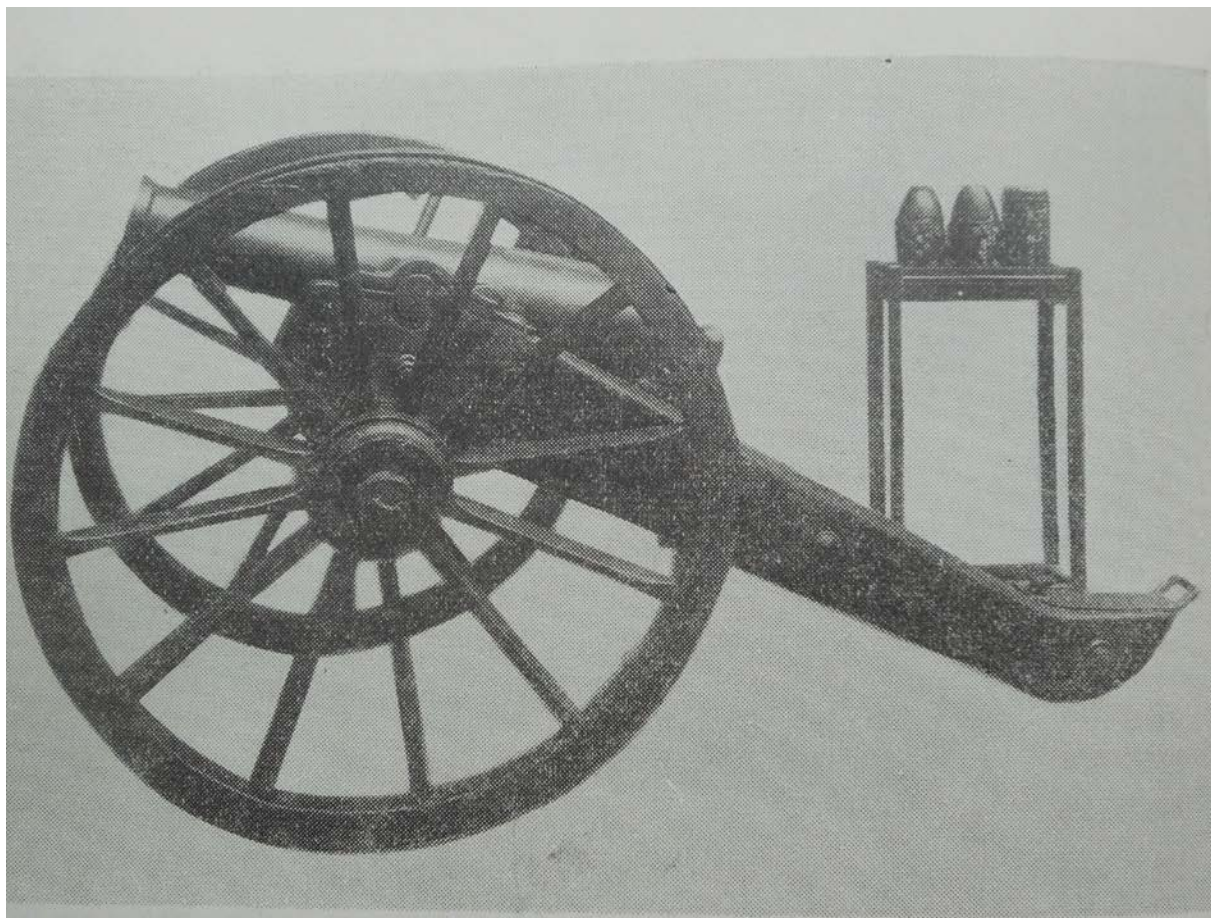
エンピール銃
スナイドル銃



エンピール・スナイドル 銃弾



6 ポンドアームストロング後装砲



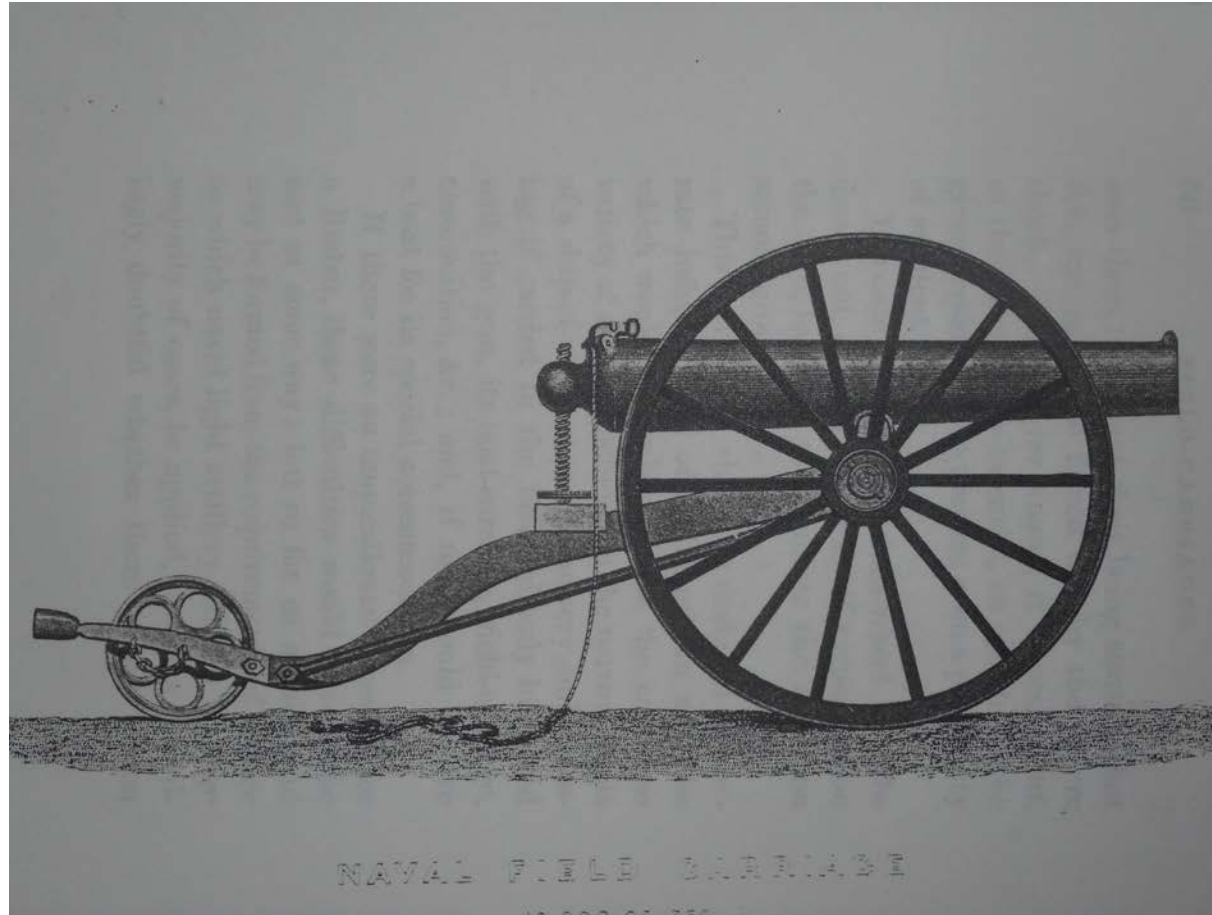
四斤山砲



左 6ポンドアームストロング セグメント榴弾
右 四斤砲弾



四斤榴弹



12ポンドボートホイッスル砲



（藏館就遊）砲臼携るせ用使に役辰戌治明 圖挿九十第

ハンドモルチール



黒門前の戦闘



旧雁鍋（世界）



本郷台からの砲撃



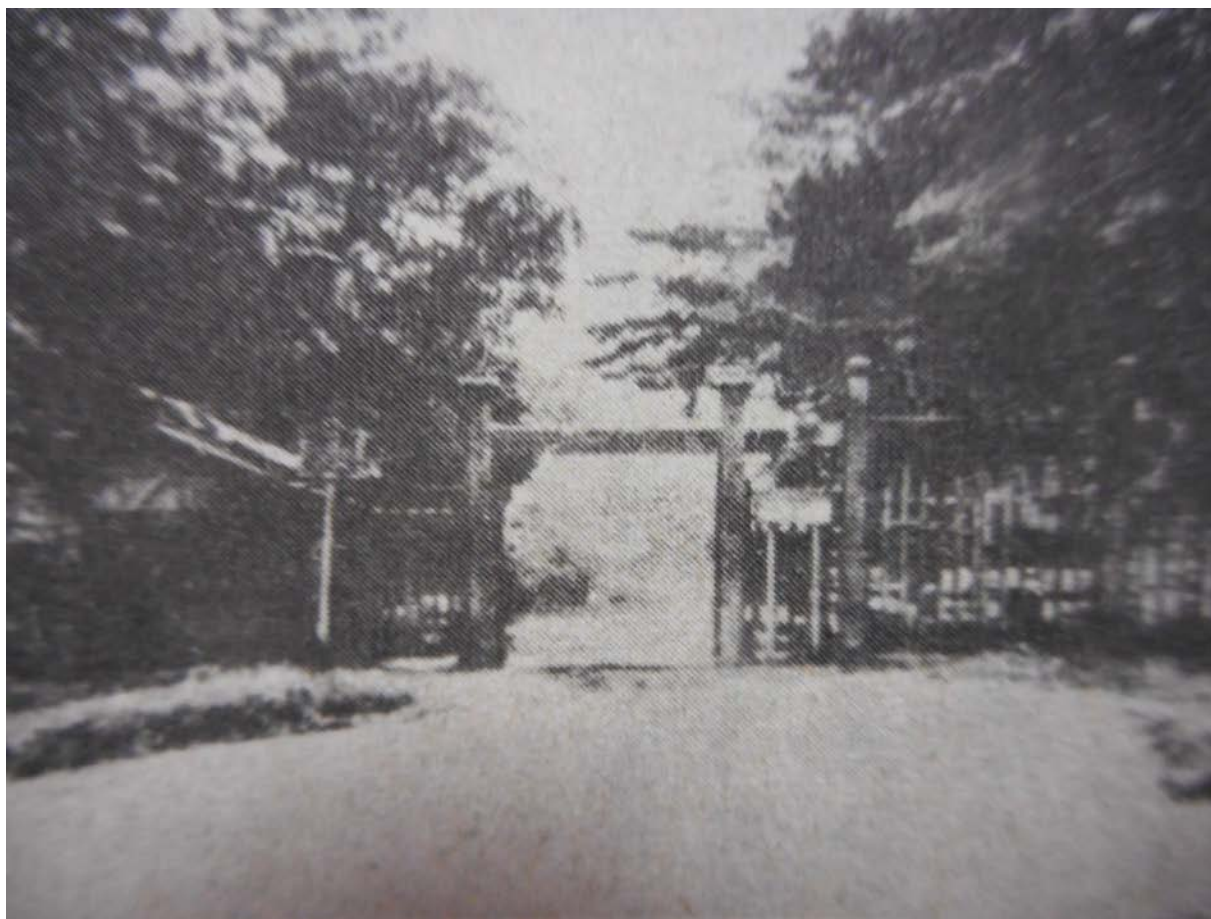
焼失地域



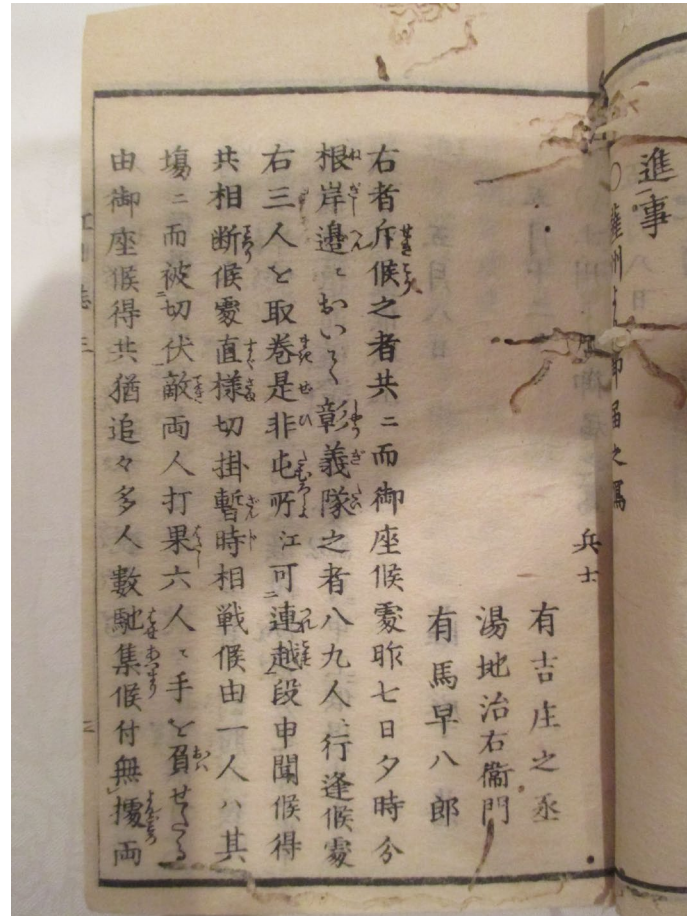
寛永寺正門



臼砲弾



黒門



『江城日誌』

勃禮翁ノ例ニ於テ知ルヘシ
第二百九十章 已ニ敵ノ多寡及ヒ其陣制ヲ證
知セハ之レニ從テ攻法ヲ定ム○通常敵陣ノ攻
撃点ヲ「ダクチー」キト「ストラトキ」トニ於テ區
分ス甲種ニ在テハ容易ク侵撃ヲ施スヘクメ勝
利ノ線ヲモ多キ越ヒ補ニ在テハ侵撃ノ勝ニ
由リ入利アルヘキ是ナリ故ニ「ダクチー」キノ
侵撃点ト「ストラトキ」ノ侵撃点ト一致スル片
ハ攻者ノ利必然タリ

スル一地在テ集結ス○第二「プレデレ」キノ各
種決戦ニ於テ施行スル如ク金軍ヲ斜面戰隊班
次トナシ守者ノ翼上ヲ掩撃スルハ我ヨリ施ス
諸事ニ於テ更ニ及報スルヲ能ハスメ我ニ制セ
ラル、敵ニ對スルヲ能ハスレバ時ニ非スハ勝利
ヲ得テ難シ○通常所用ノ攻撃法ハ攻圍及ヒ側
面侵撃ヲハントアリハ中央衝撃ト「キングレト」
第二百九十一章 攻圍及ヒ側面侵撃ハ守兵ノ
虛弱ナル一翼ニ於テ施スヲ好トス○此法ハ其
翼ヲ侵テ周旋シ又敵營ノ背後ニ旋出スル者ナ
リ

兵隊ハ多兵ヲ集結シ而メ其指揮官獨斷ヲ以テ
處スヘキ才能有ル者ニ非スハ不可トス○若
シ此一才欠ケハ守兵ノ翼上虛弱ナル時ニ於テ
ノミ行フヘシ而メ之ヲ行フニハ攻圍スル縱隊
ヲ必ス本軍ト離隔スヘカラス
十七百九十六年八月五日ガスタフリア子及ヒ
十八百九十九年七月六日ウクタム及ヒ千八百十一
年五月十六日アルビエラノ決戦ノ例ヲ參考ス
第二百九十二章 中央衝撃ハ敵ノ陣制甚
リ○敵ノ翼上好ク倚托シ在ル片ハ攻圍ヲナス
ニ甚タ迂回セシムハアラス是ニ由リ多ク時ヲ
費シ又攻圍ヲナス兵隊他ノ攻兵ト全ク隔絶セ
ラレ又行進中ヒンデルニセン伏兵或ハニ出逢ヒ
其動作ヲ支ヘラレ或ハ守者各箇々々ニ我ヲ要
撃スルヲ以テ極テ難ナリトスリホリノ戰ニ
於テ勃泰拔兕ノ左翼ヲ固行スル「シフナ」
ハ「チ」ハステンレーキ縱隊ヲ以テ見ル可シ○
如是攻圍ハ大兵ヲ持シ或ハ守兵逆襲スルノ患
ナキニ非スハ曾テ行フヲ勿レ故ニ攻圍スル

『活版兵家須知戰鬪術門』第七卷